**2017年度数学教育学会夏季研究会（関西エリア）**

日　時　　2017年6月18日（日）10：35－17：00

場　所　　関西学院大学　大阪梅田キャンパス

**プログラム**

10：30　受付

開会挨拶：渡邉 伸樹（関西学院大学）

10：35　一般発表１（発表12分、質疑3分）　　座長　黒田 恭史（京都教育大学）

10:35-10:50

①聴覚障害児と数学教育―障害認識と対策の研究（その３）―
種村 篤（京都府立聾学校），河崎 哲嗣（岐阜大学）

10:50-11:05

②日独の関数教育における比較研究 (Ⅰ)－関数の意味理解に関する学力調査より－
谷 陽良（京都教育大学大学院生），柳本 哲（京都教育大学）

11:05-11:20

③小学校第３学年を対象とする方程式・連立方程式の数理認識

太田 直樹（福山市立大学）

11:20-11:35

④大阪大学MMDS数理科学ユニットにおける数理科学教育

中澤 嵩（大阪大学）

11:35-11:50

⑤大阪大学MMDSにおけるデータ科学教育への取り組み

朝倉 暢彦（大阪大学）

11:50-12:05

⑥高校生の“無限”に関する認識について～ 区分求積法の授業実践を通して ～

大石 明德（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎）

12：05　昼食

13：00 シンポジウム（80分）

「算数・数学教育におけるアクティブラーニング再考　－意義ある教育実践を考える－」

コーディネーター

・渡邉 伸樹（関西学院大学）

シンポジスト

・小谷 卓也（大阪大谷大学）

・廣瀬 隆司（島根県立短期大学部）

・柳本 哲（京都教育大学）

14：30　一般発表２（発表12分、質疑3分）　　座長　柳本 哲（京都教育大学）

14:30-14:45

⑦数学Aのオイラーの多面体定理に関する発展的指導とその指導課題

長尾 真紀（徳島県教育委員会），金児 正史（鳴門教育大学），松岡 隆（鳴門教育大学），松崎 和孝（西日本工業大学）

14:45-15:00

⑧図形領域における児童の審美性認識に関する実態　－第４学年・第５学年に焦点を当てて－

西澤 智（京都女子大学大学院生），廣瀨 隆司（島根県立大学短期大学部），坂井 武司（京都女子大学）

15:00-15:15

⑨小学校高学年段階における関係記号の認識に関する研究

津田 真秀（京都教育大学附属京都小中学校），森脇 正博（京都教育大学附属京都小中学校），黒田 恭史（京都教育大学）

15:15-15:30

⑩幼児期における遊びを通しての指導についての一考察ー遊びから算数の学びへー中橋 葵（神戸大学大学院生），岡部 恭幸（神戸大学）

15：30　休憩（10分）

15:40-15:55

⑪一般化における児童の困難性の分析

澤田 淳（兵庫県芦屋市立浜風小学校）

15:55-16:10

⑫高校生による数学研究のための教材開発 2

長瀬 睦裕（京都府立嵯峨野高等学校）

16:10-16:25

⑬教育令期における珠算教科書についての一考察　－中條澄清著『初等小學珠算教授書』を通して－

西川 恭一（四天王寺大学），富永 雅（大阪教育大学）

16:25-16:40

⑭視覚障害を有する生徒を対象とした数値計算指導の展望

今西 雅次（京都大学大学院生）

16:40-16:55

⑮中学校における関数理解のための一試み

河合 真美（東大阪市立楠根中学校），二澤 善紀（佛教大学）

17：00　閉会挨拶　鈴木 正彦（大阪教育大学　名誉教授）